

登録コード	E2832900	開講年度	2026				
授業科目	住環境変遷論				担当教員	山岸 明浩	
英文授業名	Theory of Environmental Transition in Dwelling				副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学生	2-4年生
講義室	教育W 3 2 1		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				中・高等学校の家庭科を担当する教員として、住生活領域の住宅史/地域性を踏まえた教育活動を行う上で必要不可欠な専門的知識と技能を身に付けるとともに、学んだ知識と技能を実践しながら、それらを振り返り、常に改善し、磨き上げていこうとすることができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	社会や生活様式が住居に与える影響について歴史的な流れを踏まえ理解する。現代の住居が抱える課題について、最新の住宅政策の事例を通して理解する。住環境の視点を広げまちづくりとの関係とその重要性について理解する。また、全国各地の特色ある民家や地域の事例について取り上げることを通して、風土と住まいのかかわりについて理解を深める。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス（STEAM教育を含む） 第 2 回：住宅の変遷と家庭科教育とのかかわり（STEAM教育を含む） 第 3 回：原始時代の住居と社会 / 生活 第 4 回：原始時代の住居にかかわる遺構の事例 第 5 回：古代の住居と社会 / 生活 第 6 回：古代の住居にかかわる遺構の事例 第 7 回：中世の住居と社会 / 生活 第 8 回：中世の住居にかかわる遺構の事例 第 9 回：近世の住居と社会 / 生活 第10回：近世の住居にかかわる遺構の事例 第11回：近代の住居と社会 / 生活 第12回：近代の住居にかかわる遺構の事例 第13回：風土に密着した住まいづくりについての発表とディスカッション（STEAM教育を含む） 第14回：風土に密着したまちづくりについての発表とディスカッション（STEAM教育を含む） 授業アンケートを実施 定期試験（レポート課題）						
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次のとおりである。 ・住環境の変遷と人間生活のかかわりを理解し、今後と住生活のあり方について自らが考え、自己啓発に努めることができるかををはかるためのディスカッションの評価 30点 ・住居の変遷についての歴史・伝統的な知識・技能を備え、それらを住生活に応用できるかををはかるためのレポート課題 70点 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	(a)住居の変遷についての理解, (b) 風土が住居や地域に与える影響についての理解, (c)みずからが住居の成立背景について考察する力について, (a)～(c)の項目について基礎的な習得ができていれば「合格水準にある」、どれか1項目について卓越した習得が認められれば「やや上にある」、どれか2項目について卓越した習得が認められれば「かなり上にある」、全項目について卓越した習得が認められれば「卓越している」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業では、前週、または次週の授業内容にかかわる発問を毎回行うので、履修にあたっては事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。 この授業は、90 時間の学修を必要とする。従って、60 時間以上の時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	・全回出席すること。理由の如何を問わず、欠席回数が多く授業の達成目標に到達することができない場合、単位認定に至らないので注意すること。 ・私たちが生活を行っている地域には歴史があり、その中で形成されてきた住まいとまちがあることを日々意識して、授業時間以外においても居住している地域の歴史や地域の建物、行事などについて学習を深めること。 ・卒業研究で、住居学領域を選択する学生は必ず履修すること。 ・原則として対面で実施する（初回の授業は、履修生の全体状況を把握するため対面とする）。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問、相談は主にメールで応じる。 山岸明浩 yamaaki@shinshu-u.ac.jp 026-238-4187						
【教科書】	授業時に適宜紹介する。						
【参考文献】	授業時に適宜紹介する。						